

新時代に向かって
みんなでジャンプ



撮影者
伊豆総合高校 写真部
3年 鈴木あかりさん

本号の
ポイント!

伊豆市新時代の幕開けに
向けた令和5年度予算! P4

令和5年3月定例会で、議会は可決・同意をしました。

※詳細はホームページをご覧ください



■全会一致で可決した議案等

	件名
報告	専決処分の報告について（物損事故に伴う損害賠償の額の決定）
	専決処分の報告について（伊豆市子ども・子育て会議条例等の一部改正）
予算	令和4年度伊豆市一般会計補正予算（第8回）
	令和4年度伊豆市公共用地取得事業特別会計補正予算（第1回）
	令和4年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）
	令和4年度伊豆市介護保険特別会計補正予算（第2回）
	令和5年度伊豆市予算 ○一般会計予算 ○各特別会計予算 ・公共用地取得事業 ・国民健康保険 ・後期高齢者医療 ・介護保険 ・7 財産区
	○各事業会計予算 ・水道事業 ・温泉事業 ・下水道事業
条例	伊豆市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の一部改正について
	伊豆市税条例の一部改正について
	伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について
	伊豆市国民健康保険条例の一部改正について
	伊豆市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部改正について
	伊豆市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
その他	伊豆市立小中学校等教職員住宅設置条例の廃止について
	市道路線の認定について
	市道路線の廃止について
	静岡地方税滞納整理機構規約の一部を変更する規約について
	伊豆市伊豆の国市外1組合公平委員会委員の選任について
	伊豆市教育委員会委員の任命について
発議	伊豆市副市長の選任について
	帯状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書
	伊豆市議会議会改革推進特別委員会設置に関する決議

■賛否が分かれた議案等

件名	小川多美子	浅田藤二	鈴木優治	飯田大	黒須淳美	下山祥二	杉山武司	梶合和馬	鈴木正人	間野みどり	波多野靖明	小長谷順二	三田忠男	永岡康司	杉山誠	議決結果
伊豆市議会議会改革推進特別委員会設置に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

※1 ○賛成 ×反対

※2 議長（青木 靖）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

令和5年伊豆市議会

1月臨時会

会期：令和5年1月6日(金)

「令和4年度伊豆市一般会計補正予算（第7回）」
避難施設改修事業【1,654万円】【*線越明許費】

「工事請負契約の締結」
伊豆市立新中学校建築工事の締結

※年度内に支払いが終わらない事業予算を次年度に繰り越す



※新中学校建設現場

「令和4年度伊豆市下水道事業会計補正予算（第1回）」
建設改良費の増【2,300万円】

3月定例会

会期：令和5年2月22日(水)～3月23日(木)

会期日程及び議会活動

月	火	水	木	金	土	日
2/20	21	22 本会議初日 全員協議会 広報委員会	23 天皇誕生日	24 全員協議会	25	26
27	28 FMIS 生放送	3/1 本会議2日目 (議案質疑)	2 連合審査 (総務経済委員会所管分)	3 連合審査 (教育厚生委員会所管分)	4	5
6 総務経済委員会	7 教育厚生委員会	8	9	10 伊豆保健医療センター理事会	11	12
13 本会議3日目 (一般質問)	14 本会議4日目 (一般質問)	15 本会議5日目 (一般質問) 議会運営委員会	16	17 小中学校等卒業式	18	19
20	21 春分の日	22 新中学校建築 工事安全祈願祭	23 本会議最終日 広報委員会	24	25	26

※詳しい議員の活動はホームページに掲載



要チェック議案



- ・議案第4号 令和4年度伊豆市一般会計補正予算（第8回）
- ・議案第8号 令和5年度伊豆市一般会計予算

令和4年度一般会計補正予算（第8回）

詳細 ※1万円以下は切り捨て

諸支出費：基金費【9,097万円】

（財政調整基金、教育振興基金積立金 他）

民生費：心身障害者福祉費【3,435万円】

（利用者の増加に伴う障害福祉サービス費 他）

職員給与費に係る人件費【1,347万円】

（退職手当特別負担金）



令和5年度当初予算



税金の使いみちをチェック!

◆ 伊豆市新時代の幕開けに向けた予算編成

全会計342億1,100万円の予算を可決
(一般会計:227億9,600万円)

令和5年度各会計総括表

会計名	5年度予算額	
一般会計	227億9,600万円 ☆	
特別会計	公共用地取得事業	83万円
	国民健康保険	40億2,000万円
	後期高齢者医療	5億1,600万円 ☆
	介護保険	38億6,700万円 ☆
	財産区(7財産区)	964万円
企業会計	水道事業	9億2,362万円
	温泉事業	1億3,703万円
	下水道事業	19億1,177万円

令和7年以降新たなステージへ

- 伊豆市は令和6年度で20周年となり、新市建設計画に基づくまちづくりは一区切りを迎える。
- 令和7年度以降は合併特例債の発行ができず、財政的には急激に縮小の見込みとなる。
- 団塊の世代が全員75歳以上となる「2025年問題」また、市の65歳以上の人口が15歳から64歳までの人口を上回るため、市内産業への大きな影響が心配される。
- 出生数が大幅に減っている(少子化緊急事態)。

☆伊豆市発足以降で最大の予算規模

令和5年度重点事業

1. 少子化緊急対策【総事業費 6,048万円】

危機的な状況にすばやく対応するため、切れ目のない支援を大幅に強化

- 出会い・結婚支援 ○妊娠・出産支援 ○子育て支援



2. 総合計画を着実に推進するための施策

重点目標ごとの注目事業

- 新中学校整備事業、土肥地域高校魅力化支援事業
- 松原公園津波避難複合施設整備事業、リサイクルセンター整備事業
- わさびの郷構想推進事業、萬城の滝周辺整備事業
- 移住定住促進事業、地域おこし協力隊推進事業
- 交通利用助成事業、修善寺駅前地区まちづくり検討事業
- ふるさと納税促進事業、公共施設民間活用推進事業



令和5年度伊豆市一般会計予算

質疑

(総務経済委員会所管)

Q 民間宅地開発等支援補助金について、周知をどのように行う考えか。

A ホームページなどでも周知しています。興味のある業者からは、直接問い合わせが来る場合があり、今年度は電話などで問い合わせが何件ありました。

Q 伊豆市ホームページのリニューアルで評価すべき点はどこか。

A ※Jアラートが発信されたときにページが切り替わり、緊急情報をお知らせする災害対応の機能や、市民からの質問に24時間A1(人口知能)の自動会話プログラムで答えられるなど、市民の利便性向上が図られると思います。

※Jアラート…緊急なとき、直ちに情報を伝えるシステム

Q 給水タンク車両購入の経緯や使い道は。

A 地蔵堂での断水や、静岡市の災害があったことから、今後の災害に備えるものです。約3千リットルの水が入られる車を導入する計画で、上下水道課と協議しています。購入費用の3分の1は県の補助金を利用する予定です。

Q 食肉加工センター管理業務委託に関し、豚熱によるイノシシの搬入ができない現在の状況は。

A 令和4年2月7日、伊豆の国市で陽性が確認され、半径10キロメートル以内の範囲に含まれています。その後、搬入を停止しています。その後、526頭ほど県の検査をしました。伊豆市で初めて陽性が確認されたのが6月10日で454頭の陽性を確認しました。

質疑

(教育厚生委員会所管)

Q 美術館整備事業について、事業者選択業務委託料とあるが、その内容は。

A 業者を選定し、*サウンドデザインや、書類作成、公募などを行う委託料です。

*サウンドデザイン…事業をより良いものにするための情報収集を目的とした手法

Q 伊豆っ子未来応援金について、市内の小学校入学時に支給する事業とのことだが、第1子に5万円、第2子に15万円、第3子以降は20万円とした根拠は何か。

A 県外で行っている市町村があり、5万円刻みの例を参考に、第2子に焦点を当てようという事で、第1子は同じ5万円、第2子には少し多めという考えから設定しました。

Q 人口減少危機宣言を出したが、今後は未来に向けてもっと拡充するべきで、6千万円では足りないのではないか。

A 子ども家庭庁の支援対策以外に、市独自の魅力ある支援策を毎年考えていく予定です。

Q 子育て支援が非常に大事な課題になってきて、経済的支援以外に伴走型相談支援がセットで自治体に求められている。伊豆市は妊産婦サポート事業など、様々なことを先進的に行っているが、ベビープログラムを拡充する理由や子育てに関する課題を、どのように把握しているか。

A ベビープログラムは第1子だけを対象にやってきましたが、第2子以降のお母さんでも同じころに出産したお母さんたちと交流したいという声や、第1子の出生が少ないこともあり、第2子以降も設定してみようと考えました。

3/2・3 連合審査

主な質疑





3/1・6・7 議案質疑 常任委員会

議員の視点から(議案質疑)

◆令和4年度一般会計補正予算(第8回)

質疑

Q 世界情勢の影響により、資材などの調達遅れが心配されるが、繰越明許費の追加補正による各事業の進捗状況は。

A 公的病院移転新築事業費補助金(中伊豆温泉病院)は進捗率71%で、設計変更により完了は令和5年6月を予定し、12月開院予定です。

また、牧之郷駅周辺整備事業の進捗率は41%です。伊豆箱根鉄道との協議や調整から本年度内の工事完了が見込めず、令和5年8月末を予定しています。その他工期などの遅れによるものです。



◆令和5年度一般会計予算

質疑

Q ふるさと観光地魅力化事業の詳細な説明を。

A ふるさと納税を活用し、地域一体となった観光施設整備を行うことを目的としています。令和5年度は、土肥屋形海岸や修善寺温泉街などをライトアップするため設計業務や整備工事を行う予定です。

Q 労働力不足による市内産業の活力低下が懸念されるが、令和5年度予算の位置付けは。

A 持続可能な市政運営を進める上で、「人口減少抑制戦略」と「人口減少適応戦略」に体系化しています。労働力の減少は、抑制策と適応策の両面から対策が必要と考え、令和5年度予算の中でその施策を盛り込んでいます。

Q 令和5年度事業の内、特に力点を置く事業は何か。
A 重点事業の一番に少子化緊急対策として、出会いから子育てまでの支援策を挙げ、力を入れて取り組む予定です。



り組みます。当初予算に位置付けた6つの重点目標に沿った事業は、どれも少子化対策につながるものですので、総合的に実施する事により将来を見据えた準備を進めたいと考えています。

Q 萬城の滝キャンプ場管理事業で、総合的な活性化策をどのように考えるか。
A 多くの人に来てもらうだけでなく、自然環境の大切さを知ってもらい、萬城の滝とキャンプ場、自然体験などを連携させ、観光交流の増進と地域の活性化を両立させることが重要と考えます。

総務経済委員会

◆令和5年度 伊豆市温泉事業会計予算

質疑

Q 土肥温泉の管理方法は、*PF方式を検討し5年間で事業を進めるといふ。数字的な効果は現れてくると思うが、地域の活性化の改革とは何か。
A 今後、交渉を進める中であくまでもイメージですが、足湯による誘客など、民間ならではのアイデアで誘客に結びつき、地域の活性化に繋がればと考えています。

*PF方式：公共施設などの設計・建設・維持管理及び運営に、民間ノウハウを活用し、公共サービスを民間主導で行うことで効果的かつ効果的なサービスの提供を図る考え方。



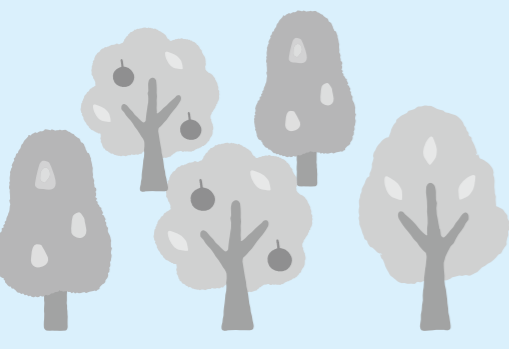
土肥温泉足湯(黄金の湯)

◆伊豆市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の一部改正

質疑

Q 天城地区は市の事業として財産区の管理をしているが、湯ヶ島地区だけは他の財産区と違うことについて説明を。
A 8つの財産区のうち、湯ヶ島財産区は条例で財産区議会を有しています。他の財産区は議会がなく、管理会という形での組織となっています。

今回の条例の一部改正で、審査対象に湯ヶ島財産区及び湯ヶ島財産区議会を追加します。



教育厚生委員会

◆令和5年度伊豆市国民健康保険特別会計予算

質疑

Q 出産育児一時金について、国保の被保険者が出産した場合に支給されるが、今年度予算と同じ20件と見込んだ根拠は。
A 令和2年度が24件、令和3年度が14件、今年度は現在10件です。ので、中間的な件数としました。

◆令和5年度伊豆市介護保険特別会計予算

質疑

Q 施設介護サービス等給付費について、需要が増えることに対して施設の供給をどうしているか。将来的に施設が不足した場合どうするのか、令和5年度の予算からどのように見えるか説明を。
A 介護が必要な方は増えていきますが、長いスパンで見ると人口減少により介護施設の必要数も減ってくるかと考えています。来年



◆伊豆市立小中学校等教職員住宅設置条例の廃止

質疑

Q 教職員住宅の廃止は、福利厚生の面で通勤に支障がなくなったなど、様々な状況があると思うが、その要因とは。
A 現在はほとんどの先生方が車で通勤をしています。道路が整備され、伊豆市の学校に通うことについては、良い環境になっていると考えます。

賛成討論

◆杉山 誠議員

自治体DXや包括的アウトソーシングの推進などにより、住民サービス対応が大きく変わりつつあります。

令和7年度以降は合併特別債の発行はできなくなり、財政規模が急激かつ大幅に縮小されることや、団塊の世代が全員75歳以上となる2025年問題、市の高齢人口が生産年齢人口を上回る見込みであることから生じる労働力不足、出生数の減少傾向など、様々な課題を克服し、持続可能な市政運営を行うための準備を進める予算編成とみることができません。

令和5年度伊豆市一般会計予算は将来を見据えて必要な予算が組まれていることを認め、賛成討論とします。

※その他3件の討論がありました



鈴木 正人 議員

市長は、施政方針演説の冒頭にて「今年の施政方針は、あえて昨年と全く同じにしました」と述べられ、その理由の説明と「一年前」の施政方針演説の原稿を読むといった極めて異例な演説が行われました。市民に対して市政運営のポイントとなるメッセージを期待していましたが、「スバリ」その真意を改めて伺います。

答 同じ施政方針を維持することで、内包する問題を共有することに意味があると判断しました

市長 新年度は、総合計画に従って着実に事業を進めていく状況になりつつあり、その姿勢に大きな変動はありません。また、人口減少が伊豆市にとって最大の課題であり、子育て世代の流出と出生数の減少が課題であることは、私のみならず、職員や議員の皆様全員に共有されている状況です。

このような認識のもと、同じ施政方針を維持することで、内包する問題を共有することに意味があると判断しました。一般質問で問われたことで、目的が達成されつつあるものと感じています。

市長施政方針演説を読み解く

市長は、施政方針演説の冒頭にて「今年の施政方針は、あえて昨年と全く同じにしました」と述べられ、その理由の説明と「一年前」の施政方針演説の原稿を読むといった極めて異例な演説が行われました。市民に対して市政運営のポイントとなるメッセージを期待していましたが、「スバリ」その真意を改めて伺います。



動画はこちら

市政を問う ~ 一般質問 ~
QRコードをスキャンして動画を見る
パソコン、Androidスマートフォン、iPhone 아이폰
伊豆市議会 ライブ中継
検索 からご覧ください。

※一般質問の質問形式を「一括と分割」の選択制に変更しました。
※各議員のQRコードを読み取ると、一般質問の様子（紙面に載せられない質問）を動画で見ることができます。



杉山 誠議員

带状疱疹の予防にはワクチンが効果的ですが、予防効果の高い不活化ワクチンでは4万円（2回分）以上の費用が掛かり、接種をためらう人も多いためです。国による定期接種化が求められますが、まずは住民の命と健康を守る地方自治体で、取り組みを進めることが必要と考えます。市による带状疱疹ワクチン接種費用の助成を行いますか。

答 ワクチン接種の助成を含め、対策の要否を判断したいと考えています

健康福祉部長 带状疱疹の予防にはワクチンが効果的で、国の地方創生臨時交付金を財源に助成事業を行う自治体があることも承知しています。今後市内においても、带状疱疹の患者の増加状況などの実態を把握し、医療機関などの意見も伺いながら、ワクチン接種の助成を含め、対策の要否について、判断していきたいと考えています。

带状疱疹ワクチンの接種費用を助成できませんか

带状疱疹の予防にはワクチンが効果的ですが、予防効果の高い不活化ワクチンでは4万円（2回分）以上の費用が掛かり、接種をためらう人も多いためです。国による定期接種化が求められますが、まずは住民の命と健康を守る地方自治体で、取り組みを進めることが必要と考えます。市による带状疱疹ワクチン接種費用の助成を行いますか。



動画はこちら

※他の質問あり



杉山 武司 議員

令和7年4月開校の伊豆中学校は開校に向けて、着々と準備が進められています。しかし新中学校の給食の調理体制が明らかではありません。現在、修善寺中学校以外は2つの給食センターで調理・配送を行っています。新中学校の各給食センターの役割分担を伺います。

答 市内の学校給食は、天城、中伊豆のセンターから配送します

教育部長 修善寺中学校の給食棟は、配送する設備や環境が整っていないため、中学校の閉校とともに閉鎖予定です。市内の学校給食は、天城、中伊豆の両センターですべての小、中、義務教育学校分を賄い配送します。

学校の振り分けは、センターの調理能力や、喫食時間を考慮した配送ルートを決めます。喫食時間を検討しています。引き続き、児童・生徒数などの動向も見ながら、学校の振り分け、配送ルートを決めたいと考えています。

※喫食時間・食べ始める時間（調理後2時間以内）



動画はこちら

※他の質問あり

新中学校の学校給食の調理体制を伺う



小川 多美子 議員

2025年11月に伊豆ペロドルームで、デフリンピック自転車競技が開かれます。これは聴覚に障害のあるろう者のための世界的なスポーツの祭典です。伊豆市ではろう者のための相談には、どのように取り組んでいますか。小学生の手話教室はありますか。デフリンピックに向けて市はどのように考えていますか。

答 関心を持っていただける取り組みを進めていきます

健康福祉部長 ろう者などの悩み相談への取り組みは、手話通訳者を配置し、窓口対応や、関係機関へつなげるための対応をしています。小学生の手話教室は、夏休みを活用し、2回開催しました。

教育部長 学校では、総合的な学習において福祉を扱い、その中で手話について学ぶ学校が多くあります。今後は、更に学んでみたい子や興味のある子に対して学習の場を提供できればと考えています。

デフリンピック開催を契機に障がい者スポーツを体験する機会を作り、関心を持っていただける取り組みを進めていきます。



動画はこちら

※他の質問あり

ろう者と手話とデフリンピック

2025年11月に伊豆ペロドルームで、デフリンピック自転車競技が開かれます。これは聴覚に障害のあるろう者のための世界的なスポーツの祭典です。伊豆市ではろう者のための相談には、どのように取り組んでいますか。小学生の手話教室はありますか。デフリンピックに向けて市はどのように考えていますか。

次のページは

一般質問 (続き)

質問 Question 地域「ふくし」の充実をいかに図るか



三田 忠男 議員

「支え合い、誰ひとり取り残さない社会の実現」「だれもが安心して暮らせる地域福祉づくり」実現のための予算措置は、社協への委託、当初予算にどのような反映されていますか。

答 ※重層的支援体制整備事業や様々な社会参加支援、地域づくり支援などを行っています

健康福祉部長 重層的支援体制整備事業による地域共生社会の実現に向け、福祉相談センターを設置し、相談体制の充実や連携強化を図っています。また、社会福祉協議会への委託や補助金のほか、様々な社会参加支援や、地域づくり支援、個別避難計画を積極的かつ計画的に策定しています。

今後、誰ひとり取り残されることがないように地域づくりを進めていきます。

※重層的支援体制整備事業・地域住民の支援ニーズに対応する包括的な支援体制整備のため、福祉相談センターを設置し、関係機関との調整・連携を図る事業



動画はこちら ※他の質問あり

質問 Question 伊豆市全体で考える市民参加型の観光



波多野 靖明 議員

新型コロナウイルスへの規制が緩和し、今まで外出を控えていた人々にとっては待ちに待った時。メディアでも観光地が盛んに報じられ、ネット配信や訪れた方のSNSでも伊豆市の魅力発信に繋がっていると思います。全国各地で観光客の誘致に尽力している中、伊豆市民も取り組む観光の現状、そして今後の取組について伺います。

答 ガイドクラブ以外のおもてなしに関する取り組みも順次再開したいと考えています

産業部長 「市民自らが地元の良さを理解できていなければ、観光客に市の魅力は語れない」との認識から、市民対象の「魅力再発見ツアー」を2年間開催しました。参加した市民の理解と興味が深まり、効果が表れてきています。

地域の魅力を再発見するためには、ガイドの存在が最も有用と考え、「伊豆市ガイドクラブ連絡会」を立ち上げました。来年度は、担い手の育成に注力し、「コロナ禍で実施が難しかったガイドクラブ以外のおもてなしに関する取り組みも、順次再開したいと考えています。」



動画はこちら ※他の質問あり

質問 Question 義務教育の将来をどのように描きますか



鈴木 優治 議員

新中学校開校に目途がついた現在、新中学校の現状での総事業費及び合併特例債との関係について伺います。また、少子化に基づく子ども数の減少等も踏まえ、置き去りにされたとも思える修善寺地区4小学校の統合、再編成問題を現時点で行政としてどのように位置づけているのか伺います。

答 保護者や地域の皆様に考えを伺い、市の方針をまとめていければと考えています

教育長 修善寺地区4小学校の再編計画は、進展していないのが現状です。第1次学校再編計画で目標とした再編時期から10年が経ち、再考する時期に来ていると認識しています。

今後、保護者や地域の意見を伺ったうえで、市の方針をまとめていければと考えています。

教育部長 新中学校建設の事業開始から校舎建築外構工事の最終工程までの見込みを含めた歳出総額は、現時点で72億9千万円となります。

総合政策部長 令和6年度末の新市建設計画終了までに借り入れる合併特例債の総額は、172億2800万円となっています。そのうち、新中学校整備事業の財源として借り入れる額は、49億4千万円を見込んでいます。



動画はこちら ※他の質問あり

質問 Question 伊豆中央道・修善寺道路の料金徴収について



下山 祥二 議員

静岡県議会において県の交通基盤部長は野田県議の代表質問に対し、伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収期限を延長する方針を示しました。無料化に期待していた市民の反応と、日常生活への影響や観光客の車の流れについて、そのメリット・デメリットをどのように捉えていますか。また今後の国・県への要望活動の方向性についてはどうですか。

答 修善寺駅前を含めた市内国・県道の整備の推進を要望していきます

市長 ここ数年財源なくして事業が進まないことは、全国の関係者が認識しているところです。

県道から駅への進入路対策を検討していますが、その先に修善寺橋架け替えが見え始めました。しかし、すぐに事業化できるものではないため、ターミナル駅の機能を充実させる説得力のある要望をします。

建設部長 無料化した場合の影響としては、週末の交通渋滞が更に悪化し、高速性や定時制が損なわれる恐れが大きいと思います。観光地伊豆のイメージダウンにつながることも、市民生活の利便性にも大きく影響するものと考えています。



動画はこちら

質問 Question 牧之郷地区計画の現状と主要事業について



飯田 大 議員

牧之郷地区計画の主要事業である駅周辺整備事業完成後の交通広場や、緑地広場等の管理業務担当部署はどこですか。まちづくり構想区内の住宅増加数や、働く場の誘導実績を示してください。既存道路接続宅地が少ない中、今後宅地開発に対する市の支援策を伺います。

答 補助制度の活用により、住環境整備、移住定住を図りたいと考えています

建設部長 駅施設の管理について、トイレと駐車場は伊豆箱根鉄道が管理し、その他の施設は伊豆市が管理します。

牧之郷地区計画決定後の牧之郷地区での新築住宅及び集合住宅の軒数は令和元年が5軒、2年が6軒、3年が11軒、4年が10軒です。

誘導実績は、食品製造業者が補助金を活用して工場を建設、ドラッグストアや飲食店などが開業し、地域の雇用につながっています。

支援策としては、伊豆市牧之郷地区計画施設整備補助金と、伊豆市民間宅地開発支援補助金があります。両補助制度の活用により、住環境整備、移住定住を図りたいと考えています。



動画はこちら

質問 Question 基幹産業である観光施策の財源確保が急務



小長谷 順二 議員

少子高齢化等により社会保障費の増大で、国の財政もひっ迫する中、新型コロナウイルス対応が追い打ちをかけている。昨今、交付金や補助金比率の高い伊豆市にとっては、大変憂慮すべき状況となることと想定され、基幹産業への財源確保は急務です。

答 観光施策の高付加価値化事業への取り組みと検証について伺います

産業部長 観光庁高付加価値化事業については、修善寺・土肥・天城湯ヶ島の3地域で45事業者が総事業費約21億6千万円の事業を実施しています。

検証については、令和4年度の宿泊者数は約30万4千人、前年比14.4%増でした。コロナの収束具合や全国旅行支援もありましたが、高付加価値化事業の効果もあつたと考えています。令和5年度も継続的に実施していく予定です。



動画はこちら ※他の質問あり

新 議会モニターのみなさん 1年間よろしくお祈いします！

令和5年2月1日に委嘱状交付式・議会モニター会議を行い、10名（7名は再任）が就任されました。1年間よろしくお祈いいたします。



※委嘱状交付式で撮影

議会モニターから寄せられた意見

意見

○伊豆市ホームページの議員紹介について、見やすく改善してはどうか。内容も、議員自身の活動や考え、気軽に質問できるメールアドレスや、SNSなどのリンクを掲載するのはどうか？

○質問者が一括及び分割の1問目の質問で、議員席の方向を向き質問をするため、執行部に対して質問していないように見える。議場の問題で仕方ないのかもしれないが何か工夫はできないか。



議会モニター提出意見はこちら
◀読み取り

回答

○3月に新ホームページのシステムへ移行したため、新システムで対応いたします。

○議場の登壇と質問席の配置は、コロナ禍に議員席を専用の質問席として指定したこともありましたが、現在の議場の広さでは質問席を追加することは困難で、課題として認識しています。傍聴の方に違和感を持たれない発言方法などの検討をしていきます。

FMISで一般質問の放送を開始しました！

令和5年度から、FMISで一般質問の一部の放送を開始しました。3月定例会は、4月3日から7日まで放送しました。お聞きいただいた皆様、ありがとうございました。今後の日程は、定例会前のFMIS生放送や、定例会後のFMIS放送でお知らせいたします。

- 放送日** 会期後の5日間（月～金）
- 放送時間** 9：40から10分程度
- 内容** ・1日1人、5名分放送
・議会だよりで取り上げる質問を放送



レディモ
◀スマートフォンアプリ「Radimo」でも聞くことができます。

質問 Question 伊豆市の人口減少を問う



動画はこちら

総合政策部長 令和4年度の伊豆市における出生数が100人を大きく下回るという危機的な状況となったことから、その危機的状況に即応するために、これまで取り組んできた出会い・結婚から子育てまでの各ステージを通じた切れ目のない支援を大幅に強化したパッケージが、今回の「少子化緊急対策」です。出生数の低下を抑制するとともに、年間出生数100人への回復に向けて積極的に取り組むたいと考えています。

答 「少子化緊急対策」に積極的に取り組むたいと考えています
伊豆市の最大の課題は人口減少です。令和4年度の出生数は76人と異次元の低さです。このままでは、国の予測する2045年人口1万5152人の維持は無理です。活力あるまちづくり、持続可能な伊豆市を維持するには、どのような施策・事業が必要ですか。



ほしや かずま 和馬 議員

質問 Question ふるさと納税とDMOについて

総合政策部長 寄附獲得には、インターネットのポータルサイトにおけるプロモーションや露出を強化していくことが効果的であると考えます。各ポータルサイトへの広告掲載や、大手検索サイトにおけるバナー広告を実施するとともに、各商品ページの魅力化や検索キーワードの強化などに継続して取り組みます。併せて、ふるさと納税スタッフを新設し推進体制の強化を図り、さらなる魅力的な返礼品の開発に力を入れたいと考えています。
※DMO：地域と協同して観光地域づくりを行う法人
※ポータルサイト・アクセスする入口の役割を持ったWEBSITE



動画はこちら
※他の質問あり

答 プロモーションの強化と、伊豆市ならではの返礼品の開発に力を入れています
ふるさと納税により自主財源を確保していくことは、市民のための施策を実現することや持続可能な将来への果敢な挑戦・投資のために、大変重要になってきます。伊豆市のふるさと納税についての検証と、さらなる自主財源確保のための取り組みを問います。



あさたか 藤二 議員

質問 Question 伊豆市の宝、子どもの笑顔のために

健康福祉部長 公立こども園に勤務する保育士は、地方公務員法の適用を受けず、地方公務員法では、均衡の原則があるため伊豆市だけが他に先駆けて給与水準を引き上げることができません。一方、私立は公立とは異なり、ある程度弾力的な給与処遇が可能であると認識しています。様々な制度や影響があることから、給与を含めた処遇改善は、多角的に慎重な検討、議論が必要と考えます。



動画はこちら
※他の質問あり

答 給与を含めた処遇改善は、多角的に慎重な検討、議論が必要と考えます
「少子化緊急対策」が掲げられた令和5年度の予算には、第2子以降保育料無償化の他にも各ステージを支援するための予算が計上されましたが、受け皿である保育の現場では保育士確保や保育環境整備など課題が見られます。持続可能な伊豆市のために、保育士給与への手当上乗せなどを含め、待遇の改善が求められますがいかがですか。



くろす あつみ 淳美 議員

アンケートを実施中!

伊豆市議会だより 検索

アンケート回答フォーム



Webから
アンケートへ
Webから回答

ここから
アンケートへ



✓ 前月号アンケートにて、ご意見をいただきましたのでご紹介します。

- ・今後も議会だよりを注視していくつもりである。(★★★★☆ 60代 市議会たれ様)
- ・紙面に「附帯決議」の答えが無く、録画を見て初めてわかった。限られた紙面をフォローしてくれるQRコードは気に入っている。(★★☆☆☆ 60代 一市民様)
- ・人口減にも対応した方策も検討するべき時期ではないか。(★★★★☆ 60代以上 女性)
- ・2月発行で議長の「あけまして…」は季節外れのような気がした。(★★★★☆ 50代 女性)
- ・たまに見る程度だが、税金がどのように活用されるのかが見えてきて勉強になる。(★★★★☆ 30代 男性)

広報委員会 委員から

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。記事に対して多くのお声をいただき、委員一同励みとなっています。市民の皆様の率直なご意見を、今後の紙面の参考にさせていただきます。今後も忌憚のないご意見をお待ちしています。

❗ 早稲田大学マニフェスト研究所が行う「議会改革度調査2022」で、伊豆市議会は全国1,416(調査回答数)議会中**168位**にランクアップしました(前回300位圏外)。今後もより一層の議会改革に取り組んでまいります!!

❗ 議会だより No.75 の訂正をいたします(7p 賛成討論)。1段目の本文2行目「契約の段階から」→「当初予算よりも」

6月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
5/29 本会議初日	30	31 本会議2日目 (一般質問)	6/1 本会議2日目 (一般質問)	2 本会議3日目 (一般質問)	3	4
5	6	7	8	9 本会議4日目 (議案質疑)	10	11
12 総務経済委員会	13 教育厚生委員会	14	15	16	17	18
19	20 議会運営委員会 (予備日)	21	22	23	24	25
26 本会議最終日	21	22	23	24	25	26

※日程は変更となる場合があります



2月28日の FMIS生放送で、鈴木正人議員が定例会のお知らせや報告を行いました。次回は5月末に6月定例会のお知らせをします。

議会傍聴・視聴 のご案内

本会議は感染症対策をしながら、どなたでも傍聴ができ、インターネットによる生中継と録画配信も行っています。

アクセスはこちらから→



傍聴に関するお問合せ/

Tel. **0558-72-9906**

(議会事務局)

編集後記

若葉の緑眩しい季節、皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃は、「伊豆市議会だより」をご愛読いただきまして誠にありがとうございます。今回の議会だよりは、いかがでしたでしょうか。以前から取組んでおりますが、誌面の所々に「QRコード」を表示してあるのをご存じでしょうか。スマホやパソコンから議会の録画配信などに繋げるための工夫です。

是非、議会の『臨場感』を味わっていただき、身近に議会を感じていただければ幸いです。

議会広報副委員長 鈴木 正人



次回は令和5年8月1日発行予定です。

◀ 議会ホームページ